

## 日本リハビリテーション医学会 平成 24 年度第 1 回理事会議事録

日 時：平成 24 年 4 月 21 日(土) 12 時～16 時 10 分

場 所：都市センターホテル 7F 701

構成員：理事 16 名、監事 2 名

**出席者**

理事長／里宇明元

副理事長／赤居正美・上月正博・水間正澄・吉永勝訓

理 事／朝貝芳美・浅見豊子・生駒一憲・出江紳一

川平和美・才藤栄一・佐浦隆一・菅 俊光

椿原彰夫・正門由久・水落和也

監 事／木村彰男・住田幹男

専門医会幹事長／菊地尚久

**議 題****I. 報 告**

## 1) 業務執行理事会報告

里宇理事長から、平成 24 年度第 1 回業務執行理事会の報告があった。

## 2) 会員現況報告について

赤居副理事長から、会員現況について報告があった。

**II. 重要審議事項**

## 1) 新役員候補者について

里宇理事長から、4 月 20 日付で選挙管理委員会から電磁的方法による意向選挙の投票結果について報告を受けた旨の説明があり、役員候補者名簿を 5 月の代議員総会に提案し、議決する旨の提案があった。審議の結果、各役員候補者の得票結果とともに代議員に公表することが承認された。また、得票同数の 2 名については選出の経緯を記載して代議員に公表することが承認された。

## 2) 定款の変更案について

上月副理事長から、定款の変更案の説明があり、審議の結果、原案どおり承認し、代議員総会に諮ることとした。

## 3) 平成 24 年度事業方針(案)について

里宇理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

## 4) 平成 23 年度収支決算報告

上月副理事長から説明の後、木村監事、住田監事から 4 月に実施した平成 23 年度会計監査の報告に併せ、公認会計士から第 48 回学術集会収支決算に係る帳簿に不備がある旨、指摘があり、早急に整備する必要があるため、調査委員会を立ち上げ調査する旨の提案があり、審議の結果、木村監事、住田監事、赤居副理事長、上月副理事長、袖山公認会計士を調査委員とし、調査結果及び対応について業務執行理事会に一任することが、承認された。なお、本日提案の決算報告は、原案どおり承認された。

## 5) 平成 24 年度収支予算書について(収支予算の健全化のため、会費値上等の提案)

上月副理事長から、3 月の役員会で承認された平成 24 年度収支予算書(案)は、公益社団法人に認定後は、当日配布の「収支予算書(事業別区分経理の内訳表)」の様式になる旨の報告と内訳表の説明があり、承認された。関連して、ここ数年の赤字決算の穴埋めとして、積立金の取り崩し等で決算してきたが、将来的には会費値上げの方向性を検討する必要があることがシミュレーション結果とともに提案され、審議の結果、代議員総会において説明を行うことが、承認された。併せて監事より一層の節約の重要性および学会の収支構造全体を見直していく必要性が指摘され、審議の結果、収支構造の経年推移の分析をもとに、財政健全化に向けた対応を検討していくこととした。

**III. 審議事項**

## 1) 平成 23 年度事業報告並びに 24 年度事業計画(案)について

里宇理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

## 2) 代議員総会並びに会員への報告会の議題(案)について

赤居副理事長から説明があった。関連して、平成 24 年度代議員総会の開催通知案に基づき代議員総

会での委任状の扱い及び書面表決について説明があり、審議の結果、今回は役員候補者の信任投票を除き、委任状の提出もしくは書面表決を可能とすることが承認され、具体的な方法を事務局で検討することとした。

3) 第52回学術集會会長候補について

赤居副理事長から、里宇明元理事長の推薦があり、審議の結果、承認され、代議員総会に諮ることとした。

4) 名誉会員の推薦について

里宇理事長から、江藤文夫氏の推薦があり、審議の結果、承認され、代議員総会に諮ることとした。

5) 感謝状贈呈について

里宇理事長から説明があり、審議の結果、承認された。

6) 医師以外の正会員入会について

椿原理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

7) 50周年記念事業関係

里宇理事長からこれまでの経緯が報告された後、本年9月に1)「リハビリテーションを考える日」企画(共催プレスセミナー)及び専門医会企画(新聞社タイアップ市民公開講座・企業広告協賛の実施すること、2)上記事業の企画を、今年度は(株)ブラップジャパンに委託すること、3)50周年ロゴマークは、学会ロゴマークに50周年を加えたデザインにすることについて、提案説明があり、審議の結果、承認された。

8) 日本医療安全機構への負担金について

上月副理事長から説明があり、審議の結果、負担金を拠出することが承認された。

9) 賛助会員の入会推進について

里宇理事長から説明があり、審議の結果、各役員が趣意書により、入会の勧誘を行うことが承認された。

10) 脳科学関連学会連合(案)設立に対する賛同の有無について

里宇理事長から説明があり、審議の結果、設立に賛同し、本医学会から評議員2名を推薦することが、承認された。

11) 学会誌の今後の在り方について

赤居副理事長から、学会誌の方向性について議論したい旨提案があり、審議の結果、学会誌をまず

オープンアクセスジャーナルすることと、次に英文化することが承認され、その手順と準備については編集委員会が検討を進めることとなった。

12) 海外研修制度(Traveling Fellowship)に関する申し合わせの一部改正(案)について

才藤理事から説明があり、審議の結果、会則検討委員会に付議することが、承認された。

13) 海外研修制度特別助成に関する申し合わせの一部改正(案)について

才藤理事から説明があり、審議の結果、会則検討委員会に付議することが、承認された。

14) 認定臨床医更新内規等の一部改正(案)について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

15) 会員の入退会について

赤居副理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

16) 社会保険等委員会関係

吉永理事から、①内科系学会社会保険連合平成24年第1回運営会議報告、②診療報酬改定関係リハニュース53号、水落理事から、①平成24年度第1回外保連検査委員会報告、②がんのリハビリテーション研修会について、それぞれ説明があった。

17) リハビリテーション科専門医会癌縮治療SIG(Special Interest Group)設立骨子について

菊地専門医会幹事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

18) 関連学会で行われる教育研修講演の単位申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

19) 別表(専門医・認定臨床医生涯教育の履修項目及び単位)の一部改正(案)について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

20) 専門医・認定臨床医生涯教育の履修項目及び単位における関連雑誌について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

21) 病態別実践リハ医学研修会における修了証発行手続きについて

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

22) 細則 (2)-f 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

23) 平成 24 年度病態別実践リハビリテーション研修会の講師、特別委員について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

24) その他

1) 後援・協賛について

赤居副理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2) その他

①日本静脈経腸栄養学会学術集会からの合同企画の依頼について

赤居副理事長から説明があり、審議の結果、赤居副理事長が窓口となり、適切な人材を推薦することが承認された。

#### IV. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成 24 年 3 月 16 日から平成 24 年 4 月 13 日までの間に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告が行われた。

① 評価・用語委員会 佐浦理事

② 診療ガイドライン委員会 生駒理事

2) 専門医会報告

菊地専門医会幹事長から報告があった。

3) 一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会報告

正門理事から報告があり、同研修会の運営の方法等を教育委員会で検討することとした。

4) 細則 (2)-g 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から報告があった。

5) 平成 23 年度実習研修会報告・24 年度開催予定について

正門理事から報告があり、補助金の見直しを教育委員会で検討することとした。

以上

## 日本リハビリテーション医学会 平成 24 年度第 2 回理事会 議事録

日時：平成 24 年 5 月 30 日(水) 12 時～14 時

場所：福岡 ホテルオークラ福岡 平安 1

構成員：理事 16 名、監事 2 名

出席者

理事長／里宇明元

副理事長／赤居正美・上月正博・水間正澄・吉永勝訓

理事／朝貝芳美・浅見豊子・生駒一憲・出江紳一

川平和美・才藤栄一・佐浦隆一・菅 俊光

椿原彰夫・正門由久・水落和也

監事／木村彰男・住田幹男

名誉会員／上田 敏・野島元雄・平澤泰介・村上恵一

米本恭三

専門医会幹事長／菊地尚久

第 49 回学術集會会長／蜂須賀研二・幹事／佐伯 覚

第 50 回学術集會幹事／川手信行・笠井史夫

代議員総会議長候補／大申 幹

議題

### I. 報告

1) 業務執行理事会報告

里宇理事長から、平成 24 年度第 2 回業務執行理事会の報告があった。

2) 会員現況報告について

赤居副理事長から、会員現況について報告があった。

3) 第 49 回学術集會の準備状況について

蜂須賀研二学術集會会長から、準備状況について報告があった。

4) 代議員総会及び会員への報告会の議事確認について

里宇理事長から代議員総会及び会員への報告会の議事次第について報告があった。

### II. 審議事項

1) 平成 23 年度地方会事務局運営費補助金収支決算及び 24 年度事務局運営費補助金について

- 上月副理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 2) 会費を2年以上滞納した者の扱いについて  
赤居副理事長から会費を2年以上滞納した者について説明の後、名簿を回覧した。なお、該当者名簿は、学術集会期間中に事務局受付で確認できるようにすることとした。
- 3) 50周年記念事業関係  
里宇理事長から、設立50周年記念事業の進捗状況について説明があった。
- 4) 第50回学術集会の準備状況について  
水間正澄学術集会長から配布資料に基づき、準備状況の報告があった。
- 5) 賛助会員の入会について  
里宇理事長から、賛助会員入会申込について説明があり、審議の結果、15件すべての入会が承認された。
- 6) 会員情報に関する規則の一部改正(案)について  
赤居副理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 7) 専門医会幹事選挙に関する内規の一部改正(案)について  
菊地専門医会幹事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 8) 専門医会研究補助金に関する内規の一部改正(案)について  
菊地専門医会幹事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 9) 海外研修制度に関する申し合わせ・海外研修制度特別助成に関する申し合わせの一部改正(案)について  
才藤理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 10) 学術集会開催準備資金前払金支出について  
里宇理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 11) 一般社団法人外科系学会社会保険委員会連合分担金の値上げについて  
上月副理事長から説明があり、審議の結果、平成25年度分担金より値上げ額を支出することが承認された。
- 12) 会員の入退会について  
赤居副理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 13) 社会保険等委員会関係  
吉永理事から、診療報酬・介護報酬改定Webアンケートについて説明があり、審議の結果、意見がある場合は1週間以内に申し出ることとし、実施することが承認された。関連して、内保連報告があった。次に水落理事から外保連報告があった。
- 14) 研修施設の新規認定について  
浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり11施設の認定が承認された。
- 15) 研修施設の保留解除について  
浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 16) 研修施設の資格喪失について  
浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり6施設の資格喪失が承認された。
- 17) 指導責任者の新規認定について  
浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 18) 指導責任者の資格更新について  
浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり46名の資格更新が承認された。
- 19) 専門医・認定臨床医の資格更新について  
浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 20) 細則(2)-g項目による生涯教育研修単位の申請について  
正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 21) 細則(2)-f項目による生涯教育研修単位の申請について  
正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 22) リハビリテーション機能を強化した地域包括ケアシステム構築へ向けた調査・支援について  
朝貝理事から説明があり、審議の結果、意見がある場合は1週間以内に申し出ることとし、実施することが承認された。
- 23) その他  
①後援・協賛について  
赤居副理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

### Ⅲ. 報告事項

#### 1) 各種委員会報告

平成24年3月16日から平成24年4月27日までの間に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告が行われた。

- |            |      |
|------------|------|
| ① 編集委員会    | 川平理事 |
| ② 評価・用語委員会 | 佐浦理事 |
| ③ 試験委員会    | 出江理事 |

- |               |      |
|---------------|------|
| ④ 障害保健福祉委員会   | 朝貝理事 |
| ⑤ 広報委員会       | 菅 理事 |
| ⑥ 診療ガイドライン委員会 | 生駒理事 |

#### 2) 細則(2)-g項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から報告があった。

以上

## 日本リハビリテーション医学会 平成24年度第3回理事会(臨時)議事録

日時：平成24年5月30日(水) 17時～18時

場所：福岡 ホテルオークラ オークルーム

構成員：理事20名、監事3名

#### 出席者

理事／赤居正美・朝貝芳美・浅見豊子・安保雅博  
生駒一憲・石合純夫・石川 誠・出江紳一  
川平和美・上月正博・才藤栄一・佐浦隆一  
志波直人・白倉賢二・田島文博・椿原彰夫  
芳賀信彦・正門由久・水落和也・水間正澄  
監事／木村彰男・久保俊一・住田幹男

#### I. 理事長の選出について

選出は、定款第24条第2項及び理事会の人事に関する内規第2条第1項に従い、事務局長が議長となり議事が行われた。

理事長候補者として、出江紳一理事から水間正澄理事の推薦、上月正博理事から赤居正美理事の推薦があり、候補者複数のため単記無記名投票を行った。その結果、水間正澄理事が理事長に選出された。

議長は、事務局長から水間理事長に交代した。

なお、理事会の人事に関する内規第2条第3項に白票の取扱いが規定されていないので、今後、規定化を検討することとした。

#### II. 議事録記名押印について

議長より、定款第34条第2項に基づき、議事録への記名押印を議長及び監事が行う旨説明があった。

#### Ⅲ. 審議事項

##### 1) 副理事長の選出について

定款第24条第2項及び理事会の人事に関する内規第3条第2項に基づき、水間理事長から副理事長候補者として、出江紳一、才藤栄一、椿原彰夫の3理事の推薦があり、信任投票の結果、上記3理事が副理事長に選出された。

##### 2) 各種委員会担当理事について

水間理事長から各種委員会の担当理事の決定について説明があり、理事長及び業務執行理事会に一任することが承認された。

##### 3) 日本医学会評議員及び連絡委員の選出について

水間理事長から、日本医学会の現評議員(水間正澄)及び連絡委員(才藤栄一)が現委員に交替する旨説明があり、原案どおり承認された。関連して、日本専門医制評価・認定機構の本医学会からの代表者(水間正澄)、協議員(才藤栄一)が現委員に交代することとなった。また、脳科学関連学会連合設立に伴う評議員に水間正澄(理事長職務指定)、川平和美、石合純夫両理事を推薦することとした。

##### 4) その他

(1) 平成24年度及び25年度の理事会日程について  
水間理事長から、理事会日程について説明があり、審議の結果、承認された。

##### (2) 役員就任諸手続について

事務局長から手続書類について説明があった。

以上